

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	大川地区(筒江集落)	令和4年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	7.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	7.0ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	3.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	3.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) 中山間地域等直接支払交付金制度及び多面的機能支払交付金制度の取り組みあり。	

2 対象地区の課題

○集落内の現役農家の平均年齢は70歳を超えており(R2.4.1時点)、集落内での担い手の確保を図る取り組みが必要である。 ○筒江集落は典型的な中山間地域であり耕作条件の悪い農地が多く、平坦地に比べ生産経費がかさむことに加え、近年の米価の下落により、農業収益が見込めない。 ○近年、特にイノシシによる鳥獣被害が顕著となり、耕作意欲が減退している。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落内に中心経営体がないため、円滑な世代交代を図ることで、担い手を確保し耕作を継続していく。 今後、担い手が不足する場合は、中心経営体ではないが集落内の比較的若い規模拡大志向農業者に農地集積を進め、地域全体で営農継続を図っていく。
--

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 2	肥育牛、繁殖牛	—	肥育牛、繁殖牛	—	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【鳥獣被害防止対策の実施】

近年、イノシシ等の被害が増加しているため、既設の防護柵の定期点検や地区内の地図を活用して新たな被害発生場所を特定し、新規設置等の検討を行う。

【中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金制度の活用方針】

当該交付金を積極的に活用し、農地・水路・農道などの維持管理を図る。

【地域の景観維持】

コスモスや菜の花等の植栽を行い、地域景観の維持を図る。

【農業生産活動等の継続ができなくなる農地への対応】

高齢等の理由で耕作又は維持管理の継続が困難な農地が発生した場合、地域内の農業者で役割分担しつつ、耕作又は維持管理を継続する。